

人と音を結び  
Classic Nagoya  
**クラシック名古屋**  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
<https://clanago.com>  
プレイガイド  
**アイチケット**  
☎0570-00-5310

# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行  
株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区東区2-11-22 アバンテージビル301  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: <http://www.mane-pro.com>

東海テレビ  
**グラン・ドリーム・バレエ・フェス 2026**  
世界的な舞臺が夢の競演!  
2026年  
2/22(日) 17:00開演 (16:00開演)  
2/23(月祝) 14:00開演 (13:00開演)  
8会場 愛知県芸術劇場 大ホール  
8チケット S席 10,000円 A席 8,000円  
B席 6,000円 C席 4,000円

**米沢唯ら国際的プリンシパルが来演**  
2月22、23日「グラン・ドリーム・バレエ・フェス」  
佐々晴香(ベルリン国立バレエ団)、中村祥子(KYO)そして愛知出身の国際的プリンシパルが東海地区ダンサーと共演するバレエの祭典「グラン・ドリーム・バレエ・フェス2026」(東海テレビ放送)が2026年2月22日

「妖精ウィットリ」(ブッチーニ作曲)は1986年に同団が初演、その後上演的機会がなく、今年が40年ぶりの再演になる。恋人ロベルトに裏切られ命を絶ったアンナが、死霊となって復讐を果たす。名作バレエ「ジェル・カヴァレリア」(マスカニ作曲)は、男女の歪曲(わいいきよく)した

## 伊藤晴、桜井万祐子、笛田博昭が主演

藤原歌劇団「妖精ウィットリ/カヴァレリア・ルスティカーナ」

藤原歌劇団公演  
New Production  
**カヴァレリア・ルスティカーナ**  
妖精ウィットリ  
伊藤晴(アンナ)、桜井万祐子(ロベルト)、笛田博昭(ジェル)  
2026 2/7(土) 14:00(開演 13:00) 愛知県芸術劇場大ホール

2月7日 愛知県芸術劇場大ホール  
「妖精ウィットリ」(ブッチーニ作曲)は1986年に同団が初演、その後上演的機会がなく、今年が40年ぶりの再演になる。恋人ロベルトに裏切られ命を絶ったアンナが、死霊となって復讐を果たす。名作バレエ「ジェル・カヴァレリア」(マスカニ作曲)は、男女の歪曲(わいいきよく)した



二胡を奏でる仲島千創

**二胡の音色で一輪の花を描く**  
1月25日 久々の「エルム」来演  
線・ベース奏者として、ジャズ・ポピュラー・民謡・民俗音楽など多彩な音楽に取り組み、島千創。最初に手に取った楽器は三味線。祖母が弾いていたので、小さい頃から三味線が大好きで、二胡の音色は色々な楽器で空間を埋めるが、二胡など東洋の音楽は、楽器で空間、間を聴かせる。飾られた花々と一輪の花のイメージと語る。

前には衣斐愛による演目解説が付く。  
正面席1万円、脇正面席8000円、自由席6000円、学生3000円。①052(8009)3430。  
なお公演前日の24日午前10時から「宝生流教授囃子会東海支部研修発表会」(午後0時35分からは門下生による「東海宝生流能楽まつり大会」(いずれも入場無料)が行われる。

愛の結末を描いた世俗的オペラ。兵役のために恋人を奪われたトゥリッドウを演じるのは名古屋芸術大学出身の笛田博昭。相手役サントゥツツアを演じるのは同大卒業後、イタリアに移住し

研さんを積んだ桜井万祐子(愛知出身)。  
伊藤とともにキャンペーンに名古屋を訪れた桜井は「イタリア在住の私にとって、故郷・愛知で上演されるイタリアの作品に主演できるのは喜び。先輩の笛田さんとは、名芸大オペラで共演させていただいたことがありますが、恋人への強い思いを伝えられればと熱演を約束した。」  
両作の演出は岩田達宗。演奏は柴田真郁。指揮のセントラル愛知交響楽団。  
全指定席、S1万5000、A1万2000、B8000、C5000、D3000円(25歳以下半額)。①052(2111)7552、愛知県芸術劇場。

第3回 名古屋イタリアオペラコンクール  
予選動画受付  
2026年1月12日(月祝)まで  
応募は公式LINEから 公式サイトはこちら

「午後5時」と23日(午後2時)愛知県芸術劇場大ホールで開催される。3度目となる今回はオーディション選出176人、地元男性ゲスト10人、メンバー10人、総勢196人が集結。「海賊」の「みるみ割り人形」「コッペリア」の3作(いずれも抜粋)を上演する。それぞれの振付を、ダンサーを熟知する地元振付家が行うのも特徴。芸術監督は日本バレエ協会中部支部長の松岡伶子。

3作品の振付、メインキャストは次の通り。「海賊」振付：梶田真嗣。出演：佐々晴香、中野吉章(谷桃子バレエ団)、牧村直紀(スターダンサーズ・バレエ団)。「みるみ割り人形」振付：松岡璃映、市橋万樹。出演：中村祥子、ウィスラフ・デュデック(元ベルリン国立バレエ団)。「コッペリア」振付：徳山博士。出演：米沢唯、速水涉悟(新国立バレエ団)。  
全指定・S席1万円、A席8000円、B席6000円、C席4000円。①052(20951)9104、東海テレビチケットセンター。

1月25日 名古屋能楽堂で 名古屋宝生会70周年公演  
前日には無料「能楽まつり」も  
名古屋宝生会 70周年記念別会  
1月25日(午後1時)名古屋能楽堂で記念別会

ダンススケイト(バレエ&ダンス用品) ~ 移転しました ~  
オンライン  
新住所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-15-23 10階(1015号) スライズスマッシュビル10F

# バリトン末吉利行 東海地区に感謝のリサイタル

## 「わたしの音楽人生」 2月8日 宗次ホール



バリトン末吉利行

「昨年、古希（70歳）を迎え、四半世紀にわたりお世話になった東海地区の皆さんに感謝の気持ちを伝えたい」。音楽界の重鎮・末吉利行（大阪出身）が2月8日（午後2時）宗次ホールで「バリトン・リサイタル〜わたしの音

楽人生を開く。東京藝大大学院修了後数々のオペラの主要キャスト、合唱ソリストを務め、歌曲の研究者としても知られる末吉。1998年、愛知県立芸術大学に教員として迎えられる。以来名古屋に拠点を、NHK名古屋文化センター講師、名古屋市民コーラスの指導なども行ってきた。



「運命」を踊る森下真樹

「交響曲第5番・運命」全4楽章を、古田友哉のピアノ演奏（リスト編曲）で踊る。振付は第1楽章から順にMIKIKO、森山未来、石川直樹、笠井毅の4人が担当した異色のダンス公演だ。



古田 友哉

### 森下真樹が「運命」全楽章を踊る 2月7、8日 シアターAoiで

振付家でダンサーの森下真樹が「ベートーヴェン運命全楽章を踊る」を2月7、8日（午後2時）メニコンシアターAoiで開く。

### 打楽器奏者・勝諒平リサイタル 2月7日 HITOMIホール



昨年3月の「スター・クラシックス・ガラコンサート」で、最優秀賞を受賞した勝諒平が打楽器リサイタルを2月7日（午後4時）HITOMIホールで開く。

二人は昨年4月から練習を重ね、本番に向けて気持ちを高めてきた。この顔合わせによって、同じ振付でもまた新たなパフォーマンスが期待できる。古田は「お互いに刺激し合って、熱気あふれるステージにしたい」と張り切る。

### 気力、体力を全開し愛を熱唱

バリトン 奥村晃平

重奏、黛敏郎のシロフォン作品。さまざまな打楽器を使ったバラエティーに富んだ作品を集めた。「打楽器にあまりなじみのない人にも楽しんでもらえるコンサートにしたい」と勝。

入場料は全自由席2000（当日2500）円。00（当日2500）円。00（当日2500）円。00（当日2500）円。00（当日2500）円。



## 2 スコットランド

スコットランドと言えば、まずはスコッチウイスキー。50年以上飲んできたウイスキーの本場を訪れたのは10年前。怪物ネッシーで知られるネス湖にも興味があった。南北に35kmと細長く、ネッシーが現れても不思議ではない風景。ある時代まで生き残った恐竜がいたに違いない。



スコットランド、ネス湖の古城

### ウイスキー、ネス湖、バグパイプ 過去には虐げられた苦難の歴史も

トラッドは、訪れた時の印象を作曲した。「フィンガルの洞窟」もそう。ピアノ曲「スコットランド・ソナタ」もある。当時はスコットランド人が人気観光地だった。忘れてはならないのが（文と写真・植田三郎）

の歌のようだが、元はスコットランド民謡。私の好きなのは「ロッド・ローモンド」で、イングリッシュ・メンデルズゾーン「交響曲第3番・スコット」

の戦いに敗れた時の悲しい歌だ。メンデルズゾーンの「交響曲第3番・スコット」

### 「ドラマ」テーマに川瀬が描く 26年度名フィルのラインナップ

2026年に創立60周年を迎える名古屋フィルハーモニー交響楽団は、川瀬賢太郎音楽監督が二期目に入る26年4月、27年3月の演奏会ラインナップを発表した。



川瀬賢太郎

定期演奏会のテーマは「ドラマ」で、曲に関するさまざまなドラマを聴かせる。川瀬監督が指揮する定期は、5月にマラー「交響曲第10番（クック



冷水乃栄流

版全曲）、10月はブラームス「交響曲第2番」ほか、27年1月にショスタコーヴィチ「交響曲第5番」ほかを。ほかに4月は90歳になるカサドシュ指揮でストラヴィンスキー「春の祭典」ほか、6月は沼尻竜典がプッチーニのオペラ「トスカ」全曲を演奏会形式で。市民会館名曲シリーズ

### 舞台批評



プロケラムは5つのシーンに分類された小品25曲。ドイツ語の歌唱だが、字幕を用いるのではなく、俳優の荒川洋子がそれぞれの曲の情景を情感たっぷりに語った。これはグッドアイデアだった。ピアノリストにはドイツ在住の日系二世マリオ・ヘリングを迎えたが、これも当たった。彼の重厚な演奏が、ブラームスの旋律を一層引き立てた。

奥村は、持ち味である強靱な気力、体力を全開し、25曲を力強く歌い切った。猛々しい勇者が情熱を込めて歌う愛の歌は、確かに聴衆に届いたはずである。（茂）

### 中部フィル芸術顧問に 指揮者・藤岡幸夫が就任



中部フィルハーモニー交響楽団は、昨年1月に死去した秋山和慶芸術監督に代わる指揮者に藤岡幸夫を芸術顧問に起用、2026年度から総合的に団の運営を一任する。藤岡は東京都出身の63

幸夫を芸術顧問に起用、2026年度から総合的に団の運営を一任する。藤岡は「若いオケなので楽しみ。気合を入れて団をけん引して行きたい」とあいさつ。本格的な活動は27年度からになるが、「才能ある若手音楽家を積極的に起用、集客のため抜本的な策を実施する」と意気込んでいる。

**恵美 単独公演**  
ゲスト 仲島千創

2026年 1/25 (日)

開場 13:30  
開演 14:00  
入場料 4,500円 (お茶付)

中国出身の歌手、恵美。中国語の美しい作品や歌謡曲、シャンソンなどオリジナル溢れる歌唱が魅力。ゲストに、表情豊かな音色が人気の二胡奏者の仲島千創を迎えて贈る新春ライブ!

Cafe Concert **イルム**  
名古屋千種区吹上2-4-5  
TEL 052-733-0085

アカデミー国枝バレエ

アカデミー国枝バレエが、深川秀夫・振付の「シンフォニー・ファンタズティック」ある男の物語（11月30日・アートピアホール）を上演した。普遍的な男女の出会いと別れを、ベリオーズの「幻想交響曲」に託したロマンチックかつ幻想的なバレエ作品である。

舞台批評

深川秀夫作品でジュニアを育成



優れた演奏陣、力強いステップ



菊本健郎「望郷」

物語は男の死からスタートし、再び死に至る輪廻転生を示唆している。深川は2020年に死去したが、その作品は多くのバレエ団で繰り返し上演されている。つまり深川バレエは、延々と生き続けるのである。（ウエノ）

で、先人観にとらわれることなく観劇できた。まず感心したのは、一時間強を一人で踊り切ったスタミナ、そして本場のフラメンコの真似ではなく、内田独自のオリジナリティーがあったこと。ステップの速さと力強さ、座位でのダンスにも抜けがなくて情感がこもった。

脱ぎ捨てたシヨールを過去の思い出に例えた演出、背面に投影されたシルエットとダンスの「共演」など、細かな工夫が随所に見えた。すべてが内田の構成演出である。今公演は「孤独生シリーズ」（全10作）の第4弾。次回もぜひ観劇したい。

計報

名古屋二期会の声楽家で、医師であり、德行寺（二宮市）の住職でもあった水谷和樹さんが昨年12月2日他界された。72歳だった。水谷さんは名古屋大学医学部を卒業後、千秋病院ほかで外科医として勤務。1984年に名古屋二期会に入会。希少なバス歌手として活躍、理事長としても長年

対話するように踊る人と鳩



「バード」

セルマ&ソフィアン・ウィイスの「バード」(11月14・16日・芸術劇場小ホール)は魅力的だった。ウィイス兄妹は振付や映像など多様なメディアを横断し、身体や記憶、社会的関係性をテーマにした作品を発表している。



「人類館」

琉球民族を展示する人類館は1903年にあった現実の出来事。正真正正そこに皇民化教育、戦争、米国統治、本土復帰など沖繩を巡る歴史を織り込み、熱と怒りに満ちた演劇を作り上げた。



「バード」

映画館が鳩の住処になっている風景から得たという。人のために存在した空間が他の生物のものになった様は、人が動物の生息地を奪うといった従



「バード」

来視点とは違う新たな関係を考えさせる。美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

沖繩をめぐる傑作を新演出で

喜劇「人類館」

「人類館」は1978年に沖繩出身で初めて岸田戯曲賞を受賞した知念正真の代表作。その作品を継承するために娘の知念あかねが立ち上げたプロジェクトが、新演出の披露を2025年版を愛知で披露した。

琉球民族を展示する人類館は1903年にあった現実の出来事。正真正正そこに皇民化教育、戦争、米国統治、本土復帰など沖繩を巡る歴史を織り込み、熱と怒りに満ちた演劇を作り上げた。

あかねがもう一人の演出に選んだ新垣七奈は、

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。

当時の熱を再現するのは、美しく幻想的な時間だっただけに、鳩がセルマの頭から飛び立ってしまっただけの瞬間は、当たり前起こりうる事なのに息を飲んだ。しかし、一人になって踊るセルマのエネルギッシュなダンスもまた、客席に感動を生み出していた。



国際芸術祭 2025

Advertisement for a music concert titled 'All Songs Are Lyrics of EITO AOI' featuring artists like Katsuragi Ritsuko and Tanaka Ryoji. It includes showtimes, ticket prices, and contact information for the venue.

Advertisement for a membership drive for 'ナゴヤ劇場ジャーナル' (Nagoya Theatre Journal). It lists the benefits of membership, such as access to exclusive content and support for the publication, and provides contact details for joining.

Advertisement for a performance titled '望郷' (Homesickness) by Kenji Kikuno. It features a photograph of the cast and text describing the production, including the director's background and the play's themes.

A list of names and roles for the Nagoya Theatre Journal membership drive, including names like 金澤 志保, 加藤 静子, and others, along with their respective roles or affiliations.

**二雄平秀**  
HIDEHIKA YUI  
PIANO RECITAL

2026  
2/4 18:30開演  
2/5 12:00開演  
2/5 18:30開演

「ゴキウ」  
「オモロシ」  
「オモロシ」

全席指定 ¥3,000 / ¥2,000

**前橋汀子**  
Toko Maehashi  
Piano Recital

2026  
2/7 13:30開演  
2/7 18:45開演

愛知県立芸術大学コンサートホール

全席指定 ¥3,000

**山内敦子**  
Atsuko Yamane  
Piano Recital

「オモロシ」  
「オモロシ」

**上原宏の**  
☆音楽☆  
聴き歩き



**カルテットSAVY**  
カルテットSAVYの第7回演奏会(12月3日・電気文化会館)は大作2曲と重厚なアンサンブルを披露した。

**YAMATO String Quartet**

2026  
2.5  
OKBふれあい会館 サラマカホール

classical & unlimited∞

**チェンバロ 木村恵理**  
「木村恵理チェンバロリサイタル」(11月21日・メニコンシアターAoi)は、チェンバロの現在を追求した興味深い企画だった。

バロック時代、バッハらが傑作を残したチェンバロは、ピアノに取って代わられた。その楽器を、朗読や映像とともに、新たな価値を見い出そうとする意欲を感じた。



**フルート 福田彩花**  
フルートの福田彩花が、名古屋演奏家育成塾で市文化振興事業団賞を受賞した記念リサイタル(11月22日・熱田文化小劇場)を開いた。

**YAMATO String Quartet**

2026  
2.5 (木)  
19:00開演 (18:30開演)

サラマカホール  
岐阜市東山1-1-53

全席指定 ¥5,500 (税込)

11/7-9 アイ・チケットWeb先行(東海圏内)  
11/11 一般発売

曲目  
A.ボロディン/弦楽四重奏曲第2番  
ニューシネマパライズ  
アダイス/ソニー/カシメール 他  
※曲目は変更になる場合があります。 ※未成年者入場不可

チケット取扱い  
アイ・チケット 0570-00-5310 https://clanago.com/ticket  
チケットぴあ https://t.kit.jp  
ローソンチケット https://l.tk.jp  
イープラス https://eplus.jp  
カラマカターケットセンター(11/10迄)

主催/企画/協力 クラシック名古屋  
問い合わせ/クラシック名古屋 052-678-5310

**重奏曲第8番「ラズモフスキー」**第2番は、言うまでもない中期の傑作。ラズモフスキー3曲の中では最も地味だが、精神性に満ちた作品。それでも、後半には軽妙な舞曲気も入り楽しい。そんな特色がよく表れていた。

シェーベルト「弦楽五重奏曲」は、チェロ2本の異なる編成で、花崎薫が参加。最晩年の代表作だが生で聴く機会は少ない。4人の力強く充実した響きは圧巻。聴きごたえのある大作が素晴らしい。初冬の寒さも吹き飛ばした。

特に林光「花の図鑑・前奏曲集」では、花の映像と、その花に関する詩の朗読が一体となって、作品に向かう真摯な姿勢に好感のため、どれも安定した演奏を聴かせた。

より効果的だった。バロック楽器という固定観念を返上、新たな可能性を巧みに提示した。

**Aimi Kobayashi**  
小林愛実  
ピアノ・リサイタル

第18回ショパン・コンクール第4位入賞から4年を経て、更なる境地へ

2026  
2/5 (木)  
開演 18:45 (開場 18:00)

愛知県芸術劇場コンサートホール

料金  
全席指定 ¥5,000 前 ¥4,000 後 ¥3,000 (一般発売)

2025年 10月10日 10:00

プログラム  
前奏曲  
ワグネル ポロディン風に  
チャプリン風に  
シューマン クライスレリアーナ op.16  
ショパン 3つのマズルカ op.59  
ワグネル クープランの墓

チケット取扱い  
アイ・チケット 0570-00-5310 https://clanago.com/ticket  
チケットぴあ https://t.kit.jp  
ローソンチケット https://l.tk.jp  
イープラス https://eplus.jp  
カラマカターケットセンター(11/10迄)

主催/企画/協力 クラシック名古屋  
問い合わせ/クラシック名古屋 052-678-5310

**スアル・アガン**  
ジエゴガ  
日本ツアー 2026

世界が息をのむ、巨竹の交響——ユネスコ無形文化遺産「ガムラン」

博多座・アジアの芸術文化紹介シリーズ第3弾!

2026  
2/19 (日)  
18:45開演 (18:00開場)

会場 豊田市コンサートホール  
(出演) スアル・アガン、スカル サクラ

国際音楽祭NIPPON 2026  
「諏訪内品子」

スルンカ: アプリホワース・モア (ヴァイオリン: 諏訪内品子) Siska Apprehensio-mos (Violin: Aiko Sumatori)  
シューベルト: 弦楽五重奏曲 ハ長調 D956 Schubert: String Quintet in C Major, Op. 163, D956

ミュージアム・コンサート Museum Concert

2026年 2月23日(月) 19:00開演 (18:30開場) (一般発売)

トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー  
7:00 p.m. Monday, February 23, 2026 at TOYOTA Commemorative Museum of Industry and Technology Entrance Lobby

全席自由 ¥5,000 (税込) 一般発売 2026年1月16日(日)

チケット取扱い  
アイ・チケット 0570-00-5310 (11/10迄) https://clanago.com/ticket  
チケットぴあ https://t.kit.jp  
ローソンチケット https://l.tk.jp  
イープラス https://eplus.jp  
カラマカターケットセンター(11/10迄)

主催/企画/協力 クラシック名古屋  
問い合わせ/クラシック名古屋 052-678-5310

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

**クラシック名古屋**

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中央区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

**アイ・チケット 0570-00-5310**  
(11:00~16:00 ※土日祝休)

**アイ・チケット 検索**

お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド  
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。